

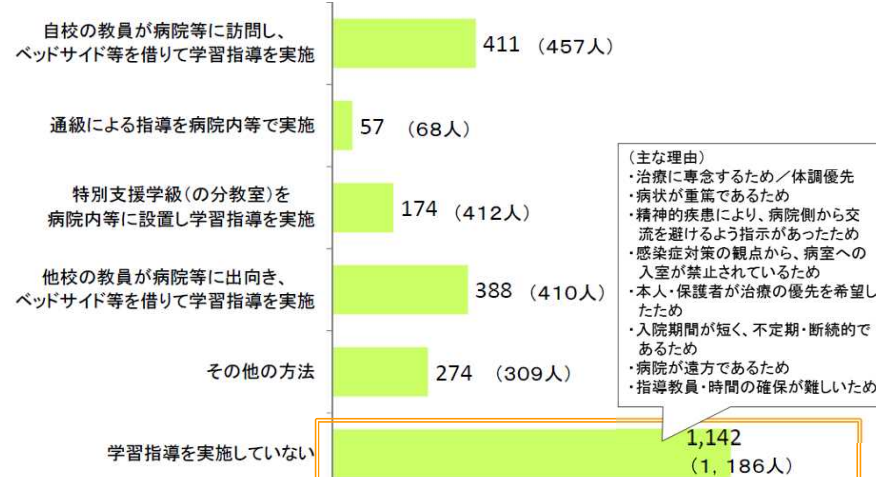
入院児童生徒等への教育保障体制整備事業

平成30年度予算額 50百万円 (平成29年度予算額 69百万円)

平成26年5月の児童福祉法の一部改正に伴う参議院附帯決議等を受け、病院等に入院又は通院して治療を受けている児童生徒に対し、平等な教育機会を確保するため、関係機関が連携して支援する体制の構築方法に関する調査研究を行う。

【改正児童福祉法に係る参議院附帯決議(平成26年5月20日)】
児童福祉法の基本理念である児童の健全育成を着実に実施するため、長期入院児童等に対する学習支援を含めた小児慢性特定疾病児童等の平等な教育機会の確保等に係る措置を早急かつ確実に講じる。

病気やけがにより長期入院した児童生徒に対する学習指導(小・中学校の場合)



○長期入院児童生徒に対する教育支援に関する実態調査より/文部科学省調べ(平成25年度実績)

入院児童生徒等への教育保障体制整備事業

長期にわたり又は断続的に入院する児童生徒の教育機会を保障するため、在籍校、病院、特別支援学校、教育委員会等の関係機関が連携して支援する体制の構築方法に関する調査研究を行う。

- <事業内容> 8地域(都道府県・政令指定都市等)
- 関係機関の連携を図るための学校・病院連携支援員(コーディネーター)の配置
 - 中核的な病院のある自治体と周辺自治体の連携体制の整備
 - 入院中及び退院時の児童生徒への補充学習を行う人材(教員等)の配置
 - 入院児童生徒へのタブレット等ICT機器の配布等を行い、有効な連携方法について研究

等

